

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2013 年
1 月号

VOL.375



HP情報（会員ページ）

○会報「KANAGAWA」をフルカラーで掲載中

○会員ページへは会員番号でログインしてください



目次

①② 建築探訪

③⑥ 新年の御挨拶

⑦⑧ シリーズ 町並み散策ぶらり in 神奈川

⑨ 第56回神奈川建築コンクール
表彰作品の御紹介②

⑩⑪ 巳年生まれ
年男・新年の抱負
旅のクイズ

⑫ 事務局便り
編集後記

建築探訪

小田原建築探訪

県西支部 川村 昇

【1. はじめに】小田原は県内のどこからでもだいたい1時間で到着できる交通の便の良いところです。歴史的にも頼朝の時代の曾我兄弟から、戦国時代の小田原北条氏・江戸時代の春日局まで歴史の舞台に度々顔を出します。また、明治になってからも伊藤博文や山縣有朋、清浦奎吾等、首相として明治政府を動かした人々が別荘をかまえ、政治的な判断をしたり、益田鈍翁・野崎幻庵・松永耳庵の小田原三茶人による茶室文化が花開いたところです。ゆっくりと小田原の街を歩き、穏やかな気候や街の雰囲気を楽しんでください。

【2. 小田原駅】横浜から電車で約50分。10年前前に改築された小田原駅は通路が広く明るい日差しが降り注ぐ広場のようです。現在は駅とドッキングして駅ビルができ、買い物や食べ物には事欠かない場所になっており、6階の屋上庭園から見える太平洋・箱根山そして目の前の小田原城は小田原のシンボルとしてどっしりと構えています。



駅ビルの屋上から見る箱根山と小田原城

【3. 小田原城】室町時代にできた小田原城は戦国時代に小田原北条氏によって日本の最強の城の一つとして有名になりました。幾度か大地震に見舞われ、その都度再建されてきましたが、明治になって廃城となり、そこに小田原御用邸が設置され、皇室に利用されるようになりました。御用邸ができたのは明治34年ですが、その頃から、小田原には伊藤博文や山縣有朋など明治時代を代表する政治家たちが別荘をかまえ住み始めました。小田原城は小田原市の市制20周

年記念事業として建設されましたが、今では江戸時代の資料による建物に建て替えようと計画されています。

【4. 二宮神社】小田原城の前を半周して上ってきた方向の反対側の坂を降りていくと、二宮神社の脇に出ます。ここは報徳社が二宮尊徳翁を祀る神社として明治27年に建設しました。二宮神社の鳥居を出て、少し右に曲がると今回の目的地である清閑亭につきます。

【5. 清閑亭】少し上り坂を行くと、石塀にはめ込んだ「清閑亭」と書かれた木製の表札が見えてきます。ちょっとわかりにくいので気を付けてください。以前(1年ほど前)来た時にうっそうと生えていた竹が今回行った時はキレイに伐採されていて、海がよく見えました。ここは昔の土塁のあとだそうです。

さて、建物とはいうと、主屋は明治39年に建築され、昭和初期に2階を増築、現在は国の登録有形文化財として公開されています。当時の持ち主は福岡黒田家13代当主の黒田長成で、長年貴族院副議長を務めた侯爵であり、政治家でした。長成の死後、浅野侯爵家に譲られ、第一生命保険社の保養所として使われた後、小田原市が買い上げ、現在に至っています。

母屋は数奇屋造りの平家・二階家が雁行に連なり、この平家部分は関東大震災をくぐり抜けた貴重な建物です。持ち主が交代した関係で、いろいろ手が入っていて、当初と違っている箇所が多々あるということでしたが、いつ頃、誰が、どう変えたかははっきりと解かっていないそうです。天窓が取り付けであったり、書院のところに建具があったり、ちょっと違和感のあるところもあります。

玄関を入ると左に順路があります。奥には以前は女中部屋として使われていた部屋があり、天井板には屋久杉が使われています。これは長成が九州の地元のものを使いたかったので取り寄せたものだそうです。建物内の柱はほとんどが角の取れた面皮柱で100mm～105mm(3.3寸～3.5寸)の柱材が使われ、面皮のおかげで、部屋

全体がふんわりとして柔らかい感じが出ています。

畳・障子・ふすま。今の住宅にはあまり見られなくなった風景がここにはたくさんあり、特にふすま絵は一枚板に竹やボタンなどが書かれていて、見ごたえがあります。山縣有朋邸(古稀庵)より寄贈された大きな座卓のある広間では、窓側にイスとテーブルが置かれていて、ちょっと一服に最適です。(コーヒーとお菓子が注文できます。ただし有料。)



広縁で一服 海が見える

1階をすべて回ったあと、2階へ移動すると南側に大きく開かれた窓から太平洋がキレイに見えます。床の間には墨跡窓があり、書にやわらかな光を当てています。黒田家時代から使われていたという竹に漆を巻いた一輪挿しも見る人の心を和ませてくれます。2階は二間だけですが、帰りに階段を下りるとき、正面に嵌め殺し窓が設けられていて、そこから太平洋が1枚の絵画のように写されています。



2階の床の間 一輪挿しが光っています

基礎は東石をコンクリートで根固めしてあり、これが関東大震災に耐えられた要因ではないかと考えられています。



東石の根固め

この「清閑亭」の周囲には対潮閣や閑院宮御別邸、その先には古稀庵・皆春荘などを持つ板橋エリアがあり、小田原の別荘文化の集積地になっています。

【6. おわりに】昨年から今年にかけて、小田原市より委託を受け、小田原の近代木造建築物の調査をし、その中で気がついたことは、小田原にはたくさんの近代木造建築物があるということでした。しかし、後継者や地震対策、老朽化の関係で新築や改築が行われ、元のままである建物が少なくなってきました。何とか保存したいものです。

また、今回の調査で屋根葺き方式の一つとして「小田原葺き」なるものを聞き、調べると小田原北条氏の末期に北条氏邦が京都で見つけたものを取り入れ、関東ほぼ全域に広まったようですが、一般的には「桧皮葺き」のようなものと紹介されています。さらに調べると小田原市の図書館に昭和3年の写真がありましたが建物は当然もうありません。また、小田原葺きらしい建物があるということで、箱根町立郷土資料館・江戸東京たてももの園・金沢区の伊藤博文金沢別邸(横浜市の復元調査)に行ったり、詳しい書物があるということで、相模国風土記を読みましたが、はっきりと断言できるものは見つかりませんでした。

まだまだ調べることはたくさんあります。これから興味を持って、地域のことを見て、聞いて、調べていきたいと思っています。

表紙のことば

【清閑亭】所在地：小田原市南町1-5-73

謹 賀 新 年

本年もよろしくお願いいたします



『年頭挨拶』

会長 上原 伸一



3 新年あけましておめでとうございます。
2013年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、旧年中は当協会に対し会員の皆様の多大なるご協力をいただきましたことに、この誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

当協会は現在次なるステップとして、上部団体の日事連と共に建築士事務所法制定への向けての活動と建築士事務所協会への当然加入化に向けての喫緊の課題として、会員増強を図ること、そして公益法人改革への対応として本年4月の一般社団法人化に向けての取り組みを行っています。

特に会員増強については、会員の団結力を深め協会がより大きな行動力を持つことができるだけでなく、経済的基盤を充実させるためにも大変重要なことと考えています。現在当協会では会員増強と退会防止に向け、会員支援事業として、「住・緑・家」住宅コンペや「マンション等大規模修繕業務」「横浜銀行との提携」等の会員向け業務受託支援、「苦情解決業務」「調査鑑定業務」「セカンドオ

ピニオン窓口」等の消費者対応支援などを展開し、より魅力ある組織作りを目指しています。会員の皆様には、この会員増強に対して格段の配慮をいただき成果も上がっていますが、引き続きのご協力をお願いいたします。

当協会では、今後とも法定団体としての役割を踏まえながら活気ある事業や制度を展開し、会員事務所がしっかりした経済基盤の上で社会や地域に貢献できるような体制を築き上げていきたいと考えていますので、引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。





年頭のごあいさつ

神奈川県県土整備局
建築住宅部長

吉田 貞夫

新年あけましておめでとうございます。

このような当たり前の挨拶が、東日本大震災から2度目の新年を迎え、ようやく人々の間に戻って来ようとしています。これも、社団法人神奈川県建築士事務所協会の皆様の被災地への支援、復興へ向けてのご尽力の賜物であると存じ、改めて敬意を表するとともに、被災地における復旧・復興に向けた懸命のご努力が一日も早く実を結びますよう皆様とお祈りしたいと思います。

また、去年は、一級建築士の資格詐称問題があり、神奈川県のみならず、全国の建築士の信用を著しく損なう事態になりましたが、皆様

のお力添えのおかげで、建物の相談窓口の設置など、迅速に対応するとともに、関係する建築物の安全確認を進めることができました。改めて御礼申し上げます。

さて、県では、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現を目指して様々な取組みを進めているところです。

本年も建築物を通じて、安全で安心な、そして、住んでみたい、訪れてみたいと人々をひきつけるような魅力あふれる神奈川のまちづくりを推進してまいりますので、専門的な知識と豊富な経験を有する皆様の更なるお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとって明るく希望の年となりますよう祈念いたします。



謹んで新春のお慶びを申し上げます

神奈川賛助会
会長 太田 清一郎

新年おめでとうございます。旧年中はお世話になりました。ありがとうございます。去年は本会の皆様と協業が深化し、加速したように思われます。

5月の賛助会・総会には上原会長と小林副会長にご臨席を賜り賛助会一同感謝しております。

また一昨年に続き「みらいふれあいフェスティバル2012」を10月に開催、準備には白井実行委員長を筆頭に各部会長・委員の皆様方とも協業させて頂き成功のうちに終了しました事も深化の賜物と存じます。

私達の環境は東日本大震災によりまして更なる省エネ・節電が求められています。横浜市では「横浜スマートシティプロジェクト」が発足しHEMSやBEMSが議論されています。私ども賛助会員はお役に立てるような次世代の商品や技術を提案させて頂く所存でございます。

最後になりましたが、本会の皆様方の一層のご繁栄とご健勝を祈念しております。

本年も賛助会員をお引き立て頂ければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。





副会長
小林 忠志

明けましておめでとうございます

会員の皆様は新年を迎え、恙なきこととお慶び申し上げます。

昨年は未曾有の震災の復興元年であったはずですが復興にはまだまだの状況であり、今後とも神事協として復興支援をしていかなければならないと考えております。設計業界の経済状況も好転する兆しはありません。又、当協会の財政状況も依然厳しい状況で推移しております。こんななかではありますが、会員、役員、支部長の御理解と御協力の賜でみらいふれあいフェスティバルの開催、会員の為の各種事業の拡充、会員増強（新規登録事務所講習会等）に少なからず成果を上げることができました。

今年はいよいよ4月より一般社団法人として新しい神事協の出発の年になります。又、本会では役員改選の年でもあり、支部においても役員を改選されるところがあると存じます。本会新旧役員、新旧支部長、支部新旧役員様に於かれては大きな指導力をもって本会、支部の活性化を計って頂きたくお願い申し上げます。会長を中心に本会役員、支部長、支部役員、事務局は心をつなげて、前を向き会員、県民、次世代を担う設計者（建築士事務所）の為、共に汗をかいていきましょう。

最後に会員皆様の益々の御発展と御健勝を祈念して新年の挨拶とします。

5



副会長
芝 京子

輝ける年に

松のみどりの間から、ひとすじの光明たる輝きが目にしみます。

静かに明けた新年の心改まるすがすがしさの中、皆様それぞれの夢と希望を描きながら引き締まるお気持ちで満ち溢れていらっしゃると思います。

（社）神奈川県建築士事務所協会も昨年は会員、賛助会員、事務局、関係諸団体、行政の皆様方のお陰様で大変活発な活動をさせていただき、なかでも例年行事の地引網には復興支援のお礼にと宮城県建築士事務所協会の皆様方に、阿波踊りをご披露いただいたり、県民の皆様にも御参加いただいた、みらいふれあいフェスティバル2012等、まだ記憶に新しいかと思われま。

建築士事務所としての研鑽のための、研修会、講習会、専門的知識や技術の向上の為勉強会、それぞれに真摯な気持ちで取り組んでいただいております。

本年は、社団法人から一般法人へと移行があり、それに伴い組織の変更等もありますが、皆様の御協力のもと、着実な運営を図っていきたく思います。また、建築士事務所の業務の適正化と、業の確立に向けて（仮称）建築士事務所法についても重要な事項の一つとなっております。

年頭にあたり、皆様方のますますのご健勝とご繁栄を、今年がより一層輝ける年になりますようお祈りし、新年の御挨拶とさせていただきます。



副会長
原 茂廣

新たな気持ちで

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年の4月には一般社団法人へと移行し、新鮮な気持ちを持っての再出発となります。移行にあたっては会員の皆様のご協力が不可欠となります。よろしくお願いいたします。

設計のプロ集団として、そして、建築士法上の法定団体としての役割を果たすために今まで以上の努力と責任を持って、一致団結をし、神事協を盛り上げていきましょう。

本年も皆様のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



**横浜ブロック長
小渡 佳代子**

横浜ブロックは組織変革で、行政、本会、各支部、各ブロックの皆様に変にお世話になりました。本年はさらに横浜ブロック会員が一丸となって本会活動に参加し協力していきたいと思っています。一方、設計事務所の存在価値を社会に発信できるよう微力ですが具体的に活動していきたいと思っています。



**川崎ブロック長
白井 勇**

新年あけましておめでとうございます。川崎支部は「みらいふれあいフェスティバル2012」において「日産リーフ（電気自動車）・LEAF to Home」を主題としてセミナーを開催いたしました。本年も新しい住まいやまちづくりの提案などを含めた活発な活動を目指してまいります。



**横須賀ブロック長
増田 務**

おめでとうございます。昨年は年末の総選挙とあわせて、今年も新政権に期待したいところです。ブロック支部委員の任期は3ヶ月ほどに成りました。

この間、会員の増強及び退会防止実施、支部長合同ブロック支部会議、建築士事務所キャンペーン、スポーツ大会、フェスタ、地引網など、多岐に携わってきました。

貢献できたとは思っていませんが、残された任期を神奈川県建築士事務所協会の発展に繋がる様、微力ですが頑張りたいと思います。



**湘南ブロック長
端山 正明**

新年明けましておめでとうございます。今年こそは日本全国の神事協会員の皆様が最良の年になる事を願っております。

戦後67年が過ぎ、日本の政治が揺れている中、私達会員が一丸となって、神事協が新たな日本に変えて行ける様な活動が出来ればと思っています。

どうか本年もよろしくお願いいたします。湘南ブロックファイト！



**中ブロック長
山本 敏夫**

あけましておめでとうございます。平成23・24年度のブロック長として中ブロックを盛り上げてきました。今後も、神事協の一員としてみなさんと協力して行きます。本年もよろしくお願いいたします。



**県央ブロック長
矢後 孝昭**

新しい年を迎え会員皆様方の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

日本また海外が変革の時を迎え、我々建築士も自分たちの地位の確立を進め、建築士事務所の存在意義を広く一般の方にアピールし、「建築士事務所協会」を発展させ団体力を付けることが我々の業務改善に繋がる事と思います。

がんばれ日本！がんばろう事務所協会！



**相模原ブロック長
西倉 哲夫**

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。今年は巳年で私も年男ですのでさらに飛躍したいと思います。また東北支援を念頭に置きながら日本のため、神事協のため結果として消費者のためになる活動を行い、会員を何とか増強して神事協の皆様とともに発展させたいと思います。どうぞ、本年も相模原ブロック（相模原支部）のご指導をよろしくお願いいたします。新年のご挨拶といたします。



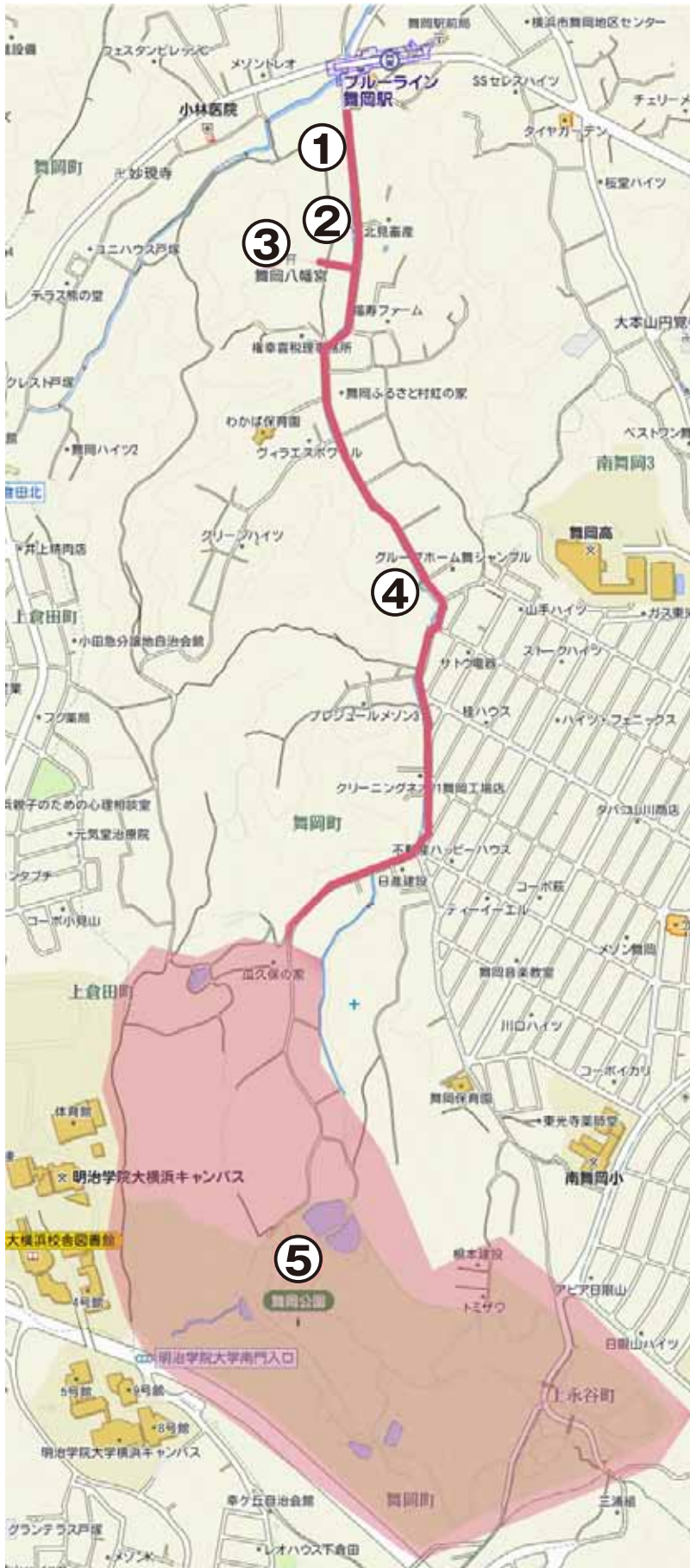
**県西ブロック長
小林 幸一**

新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、県西支部の設立50周年記念式典へご協力をいただきありがとうございました。これまでの蓄積を生かし、県西支部だけでなく本会の更なる発展のために、会員・賛助会員の皆様方と共に考え活動して参りたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

町並み散策ばらり in 神奈川

～横浜に残る「ふるさと」 日本の原風景に触れる 戸塚・舞岡公園～



①【横浜市営地下鉄舞岡駅】1番出口を出てすぐ、日本の原風景が広がります。



②【舞岡町小川コミュニティ】という散策路が小川沿いに整備されていて、風情のある水車小屋では休憩もできます。



③【舞岡八幡宮】毎年4月15日に「湯花神楽(ゆげかぐら)」が行われるほか、縁日も行われます。



④舞岡駅から舞岡公園までは徒歩約25分の道のり。散策路には休憩スペースが点在しているので、のんびりと散歩を楽しめます。小川には、立派な鯉が悠々と泳いでいる場所もあります。

⑤【舞岡公園 小谷戸の里】

横浜市内でも残り少なくなった田園風景が残り、谷戸（※丘陵地が浸食されて形成された谷状の地形のこと）を活かした公園で「昔の暮らし体験」や「収穫祭」など、自然に触れ合うイベントも数多く催されています。

田んぼ、畑、雑木林、豊かな水と土…
日本の原風景がそこにはあります。

懐かしく、あたたかく、少しだけ切ない。

「ふるさと」に出会いに行ってみませんか？



【秋には黄金の稲穂が揺れる田んぼ】



【小谷戸の里 古民家】

【今回紹介のアクセスルート】

横浜市営地下鉄ブルーライン「舞岡駅」から「舞岡町小川コミュニティ」を経て、徒歩25分。

※JR戸塚駅からバスや車のルートも有

詳しくは公式ホームページをご覧ください。
(<http://maioka-koyato.jp/index.html>)
園内マップのダウンロードもできます。

また、公式ブログでは、園内で観察できる動植物の紹介もされているので、四季折々の自然を感じることができます。

(作成：事務局 坂本 歩美)

第56回神奈川建築コンクール表彰作品の御紹介 その2

宗教法人海蔵寺 ー玄能庵ー (神奈川県建築士事務所協会賞 受賞作品)

平成24年度神奈川建築コンクール審査委員 芝 京子

前号では、住宅部門の作品を御紹介いたしましたので、今回は一般建築部門の作品を御紹介いたしますが、まず紹介の前に審査についてお話しいたします。

審査員は、住宅部門、一般部門共に6名づつで、一次選考として作品の書類審査を行い、投票を致します。その投票結果を参考に、第1回審査会の中で現地審査対象作品15件以内を決定し、7月下旬から8月上旬の暑い盛りの4日間で二次選考として、全対象作品の現地審査を行い、投票によりそれぞれの部門で10作品以内を第2回審査会の中で審査し、最優秀賞、優秀賞が決定いたします。ちなみに、本年度は住宅部門では最優秀賞はありませんでした。

さて、受賞作品「宗教法人海蔵寺ー玄能庵ー」は鎌倉の三方を山で挟まれた、大変自然豊かな場所に位置しており、木々の緑は深く、ゆったりとした空気の流れは、訪れる人の心を癒してくれるようです。

中庭の本堂と、庫裏に面して書院の再建という極めて特殊な条件をすべて呑み込み、住職との数度にわたる慎重な意見交換の積み重ねの結果、配置計画によって、建物・山・池・水・空気 すべてが一体となり、設計者の意図している、風景ー中庭と書院の調和ーは、充分に表現されたと言って過言ではありません。屋根・庇の高さの押さえ方、また山の稜線と書院の屋根から流れる本堂、庫裏への屋根、その調和はまことに美しいという言葉がふさわしい作品です。まさに、訪れる人の心が洗われるような凜とした佇まいです。

この様に、神奈川建築コンクールの応募作品は、どれも設計者がそれぞれのこだわりや、設計意図を明確に表現しつつ、施主の希望も

含め様々な諸問題を解決しながら実行され、竣工に至ったと思われます。小規模から大規模まで様々ですが、御自分の力を出し切った作品である事は事実です。

会員の皆様、ぜひ次回は参加してみたいかがでしょう。楽しみにしております。



(撮影：高橋文雄)

建築主：宗教法人海蔵寺

設計：株式会社斉藤建設設計事務所

用途：寺院 敷地面積：4116.03㎡

延床面積：71.42㎡

構造・階数：木造・地上1F

昭和16年生まれ（72歳）**【厚木支部 中原 成生】**

今年で6回目の年男になります。寒川神社へ豆まきに行くか考慮中です。先輩諸氏が現役で活躍されているのを見て、私も、もう少し頑張らなくてはと思っております。鶴見工業を卒業して54年（一級建築士の資格を取って32年）も経てこれからどれ程の設計関係の仕事を続けられるだろうか？まずは身内を始め、先輩、関係諸氏に対して迷惑をかけずに生きていこうと思ひます。本年も事務所協会の発展と皆様のご健康、ご発展を願い、年明けに鎌倉七福神巡り（会報2012年1月号掲載）の散策を実現したいと思っております。

**昭和28年生まれ（60歳）****【鎌倉支部 福田 亮一】**

「福田君飲んで帰ろう、奢るから。」湘南ブロック会議が終了した氷雨の夜でした。その後Nさんは事ある毎に私を誘い、少し変だなと気付いた時は大局を押えられ、私は支部長になったのでした。それから4年、今年は支部長退任と同時に還暦を迎えることになりました。この4年間に母と父が他界し自分自身を振り返り今後を展望する機会を与えてもらいました。又、支部会員の先輩後輩から多くの事を学びました。点と点を見ることからその間の線を良く見る事の大切さや、行き詰まりが多い時は自分が裸になれていない事等…

私は事務所協会の人達が大好きです。家族に命のバトンタッチがあるように、若き会員により良い協会を渡して行けるように努力する所存です。



10

【県西支部 門松 廣司】

今年還暦という人生の大きな節目を迎え思うのは、昭和55年に27歳で一級建築士事務所を開設し、今日まで何とかやってこれたのも、家族と多くの人たちのご指導・協力のおかげと思っています。設計という仕事を通じて多くの人たちと出会いました。これからも一年一年を大切にお客様に喜んでいただけるよう、健康で頑張りたいと思います。

**昭和40年生まれ（48歳）****【横浜支部 島村 学】**

新年あけましておめでとうございます。私は約25年建築業界で仕事をしてまいりました。当時から築いてきた人々とのつながりを大切に、また、色々な方にお力添えを頂き現在に至っております。私共エクシード株式会社は、昨年6月に建築士事務所登録を致しました新参者です。お取引先やお客様、お世話になった方々、社員、関わっているすべての人との「絆」を大切にし、厳しい時代ではありますが、「ピンチがチャンス」の精神で社会貢献できる様、社員一同精一杯頑張っております。今後ともご指導の程どうぞ宜しくお願いいたします。



昭和40年生まれ（48歳）

【横浜支部 菊嶋 秀生】

私が社会人となった今から25年前、世はバブル経済の頂点を迎え、その後のバブルの崩壊から日本経済は大きく好転することなく今日に至っています。今思えばそんな時代だったから、大きく踏み外すことなくやってこれたのかもしれない。心のどこかに世間や政治に頼ることはできないといった諦観があるのかもしれない。論語の『四十にして惑わず』とは程遠い毎日ですが、今年もいろいろと思いめぐらしながら、仕事も趣味も楽しんでいきたいと思います。



【横須賀支部 古谷 雄一】

あけましておめでとうございます。

大学時代ヨットばかりで勉強していなかった私に、担当教授が”にやっ”と笑って紹介して下さった渡辺武信設計室。目白にあったその事務所に平成元年入社してから4半世紀。

40、50は「はな垂れ小僧」と言われるこの設計業界、確かに、やればやるほど奥深く、途方に暮れる時もありますが、残りの四半世紀を悔いなく歩むためにも、小僧は小僧らしく、元気に、したたかに、自分らしく今年もぶつかっていこうと思っています。



昭和52年生まれ（36歳）

【座間支部 花田 茂】

あけましておめでとうございます。事務所を開設して早3年が経とうとしています。昨年は事務所協会の活動（景観まちづくり、応急仮設住宅コンペなど）や業務を通じて様々な経験をさせていただき、とても充実した一年でした。今年は業務のさらなる充実に加え、プライベートの充実も図ってきたいと思います。引き続き本年もご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



11

問題

平成24年10月に改修された御馬社（絵馬堂）がある、神社・寺院の正式名称は何でしょうか？
ヒント：三浦半島内にあり、お正月・御開帳・開運招福に縁があります。

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

（FAX：045-212-3807／E-mail：sakamoto@j-kana.or.jp）

※締め切り：平成25年1月21日（月）当選者は2月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

第29回（12月号掲載）の当選者は、大和綾瀬支部 相原 聡様です。おめでとうございます！

正解：『函館市』にある『五稜郭タワー』



会員異動報告

入会

横浜支部

株式会社ポートハウジングサービス 田部井政明
〒231-0015 横浜市中区尾上町6-83
TEL.045-226-5016 FAX.045-226-5017

三井ホーム株式会社横浜支店一級建築士事務所 山口 正文
〒220-0011 横浜西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング27F
TEL.045-226-2439 FAX.045-651-5495

川崎支部

村松康夫建築事務所 村松 康夫
〒211-0004 川崎市中区新丸子東1-840-306
TEL.044-411-0026 FAX.044-272-5980

平塚支部

一級建築士事務所柳田建築設計事務所 柳田 勉
〒254-0806 平塚市夕陽ヶ丘61-18
TEL.0463-24-5124 FAX.0463-24-9451

アトリエライヴズ一級建築士事務所 田中 敦史
〒254-0806 平塚市夕陽ヶ丘59-15
TEL.0463-22-6658 FAX.0463-22-6658

相模原支部

遠山信夫アトリエ一級建築士事務所 遠山 信夫
〒252-0185 相模原市緑区日連1313-1
TEL.042-686-6747 FAX.042-649-0188

県西支部

有限会社タイコー 櫻井 泰行
〒250-0005 小田原市中町1-15-13
TEL.0465-21-0017 FAX.0465-21-0880

退会

厚木支部

ダイエー設計有限会社 中村 亘

変更

厚木支部

有限会社中野建築設計事務所一級建築士事務所
(TEL・FAX変更)
TEL.0463-86-5530 FAX.0463-86-5531

【前回掲載の情報が誤りがございました。訂正の上、お詫びいたします。】

横浜支部

港設計一級建築士事務所 山口 英生
〒220-0012 横浜西区みなとみらい4-7-1-2515
TEL.050-5808-8484 FAX.050-5808-8484

本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載をしております。
神事協としての見解ではございませんのでご了承下さい。

1月の行事予定

1月7日	事務局仕事始め
9日	設計監理指導・家づくりセカンドオピニオン合同委員会
10日	総財務委員会
16日	建築物耐震改修評価特別委員会 省エネ講習会
17日	正副会長会 委員長会
18日	技術調査委員会 三会合同賀詞交歓会 会場:ホテルキャメロットジャパン
22日	ブロック支部委員会
24日	JW-CAD(中級編) 会場:東部総合職業訓練校
25日	企画業務委員会
28日	マンションセミナー 会場:横浜市技能文化会館多目的ホール
29日	木造特別委員会 「住・緑・家」運営特別委員会
31日	JW-CAD(中級編) 会場:東部総合職業訓練校

会 勢

平成25年1月1日現在

支部名	平成24年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	274	251	30	53	-23
川 崎	97	101	8	4	4
横 須 賀	51	52	2	1	1
湘南三浦	18	18	0	0	0
藤 沢	23	24	2	1	1
鎌 倉	35	37	5	3	2
茅ヶ崎寒川	18	18	1	1	0
平 塚	21	23	2	0	2
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	18	18	0	0	0
大和綾瀬	20	21	2	1	1
厚 木	36	35	0	1	-1
座 間	13	12	1	2	-1
海 老 名	14	15	1	0	1
愛 川	7	8	1	0	1
相 模 原	83	82	2	3	-1
県 西	44	48	4	0	4
合 計	780	771	61	70	-9
賛助会員	72	79	10	3	7

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

編集
後記

一昨年の5月頃、広報情報委員会の編集会議に初めて参加させていただいて以来、早いもので今年6月頃、何とか任期を全うできそう
な見込みとなりました。当初は、適格な助言を毎回頂ける担当副会長やバイタリティーのある委員長、堅実な事務局担当者をはじめ各ブ
ロック・各支部から選出された各委員の情報提供力・収集力・引き出しの多さに圧倒され、毎回の熱気ある会議に臨み、これまでの会
報を読む姿勢を真摯に改めた次第です。今後は企画やネタがマンネリ化しないように新企画の発案や次年度の新委員の選出による会議の活性
化のみならず、昨年リニューアルされた神事協のホームページを十分活用した各支部・各会員個々からの積極的な情報発信が重要ではない
かという提案も最近の委員会において持ち上がっておりますので、今後ともさらなるご協力をお願い致します。(湘南三浦支部 内藤 隆之)

かながわ 平成25年1月号(通号375号)

発行 平成25年1月1日(毎月1日発行)
発行人 上原 伸一
発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 芝 京子
: 広報情報委員長 佐藤 光良
: 広報情報副委員長 内藤 隆之
: 広 報 情 報 委 員 恩田 耕爾 北野 義夫
: 小泉 厚 杉崎 雅治
: 高橋 保博 竹尾 秀一
: 新倉 良一
: 坂本 歩美
事 務 局

謹賀新年



本年もよろしく願いいたします。



平成25年 元旦

神事協・神奈川賛助会